【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【公表番号】特表2008-508367(P2008-508367A)
【公表日】平成20年3月21日(2008.3.21)
【年通号数】公開・登録公報2008-011
【出願番号】特願2007-521468(P2007-521468)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｌ 101/02 (2006.01)
Ｄ２１Ｈ 27/00 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ 101/02
Ｄ２１Ｈ 27/00 Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成20年5月19日(2008.5.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第一及び第二外側表面を有する繊維性シートであって、少なくとも１つの外側表面は、カルボキシレートビニルアセテート－エチレンターポリマー、アゼチジニウム官能性架橋結合ポリマー及び化学反応性多官能性アルデヒド抗ブロッキング添加剤の架橋結合反応から形成された、硬化した結合材化合物の局所的に付与された網目形状を含んでおり、約０．４０から約０．７０の湿潤／乾燥比を有することを特徴とするシート。
【請求項２】
前記アゼチジニウム官能性ポリマーの量に対してカルボキシレートビニルアセテート－エチレンターポリマーの量は、固形物基準で約０．５から約２５重量パーセントであることを特徴とする請求項１に記載のシート。
【請求項３】
前記アゼチジニウム官能性ポリマーの量に対してカルボキシレートビニルアセテート－エチレンターポリマーの量は、固形物基準で約１から約２０重量パーセントであることを特徴とする請求項１に記載のシート。
【請求項４】
前記アゼチジニウム官能性ポリマーの量に対してカルボキシレートビニルアセテート－エチレンターポリマーの量は、固形物基準で約２から約１０重量パーセントであることを特徴とする請求項１に記載のシート。
【請求項５】
前記アゼチジニウム官能性ポリマーの量に対してカルボキシレートビニルアセテート－エチレンターポリマーの量は、固形物基準で約５から約１０重量パーセントであることを特徴とする請求項１に記載のシート。
【請求項６】
抗ブロッキング添加剤は、グリオキサルであることを特徴とする請求項１に記載のシート。
【請求項７】
抗ブロッキング添加剤は、グルタルアルデヒドであることを特徴とする請求項１に記載

のシート。
【請求項８】
抗ブロッキング添加剤は、グリオキシル酸ポリアクリルアミドであることを特徴とする請求項１に記載のシート。
【請求項９】
前記アゼチジニウム官能性架橋結合ポリマーは、ポリアミド－エピクロロヒドリン樹脂であることを特徴とする請求項１に記載のシート。
【請求項１０】
前記アゼチジニウム官能性架橋結合ポリマーは、ポリアミド－ポリアミン－エピグロロヒドリン樹脂であることを特徴とする請求項１に記載のシート。
【請求項１１】
前記アゼチジニウム官能性架橋結合ポリマーは、ポリジアリルアミン－エピグロロヒドリン樹脂であることを特徴とする請求項１に記載のシート。
【請求項１２】
前記アゼチジニウム官能性架橋結合ポリマーは、ポリアミド－エピクロロヒドリン樹脂であり、前記抗ブロッキング添加剤は、グリオキシルであることを特徴とする請求項１に記載のシート。